

+SWISSON



XMT-500

DMX Tester & RDM / Ethernet Controller

quick start

目次

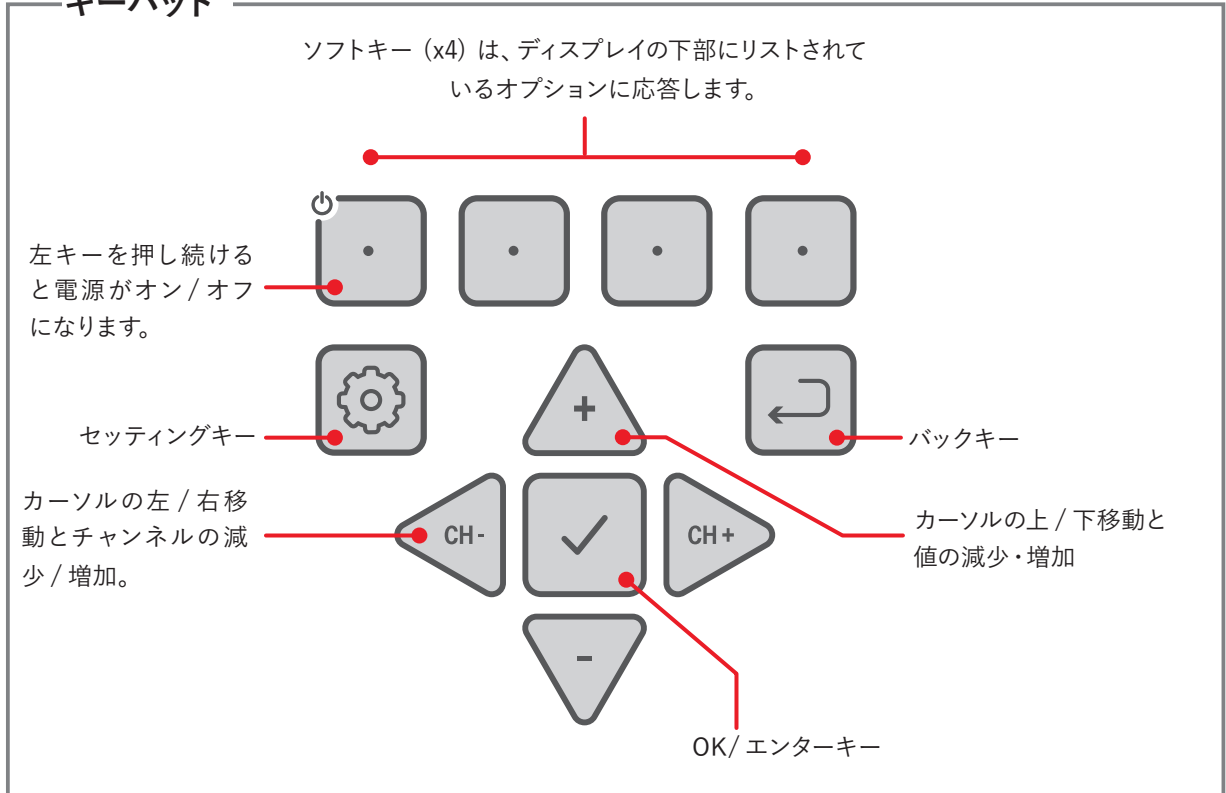
XMT-500 の機能.....	4
ケーブルテスト Dongle.....	5
ホームページ.....	6
Receive.....	7
Send.....	8
Routing.....	9
RDM.....	10
Cable Tester.....	11
DMX Loop.....	11
DMX Dongle.....	11
ETH Dongle.....	12
Analyze Tools.....	13
Device Settings.....	14
バッテリーの充電.....	15
仕様.....	15

XMT-500 の機能

XMT-500 は、鮮明なフルカラーディスプレイ、堅牢なメンブレンキーパッド、充電式バッテリーを備えています。丈夫なシャーシと工業化されたコネクタにより、このツールは長期間にわたって確実に使用できます。

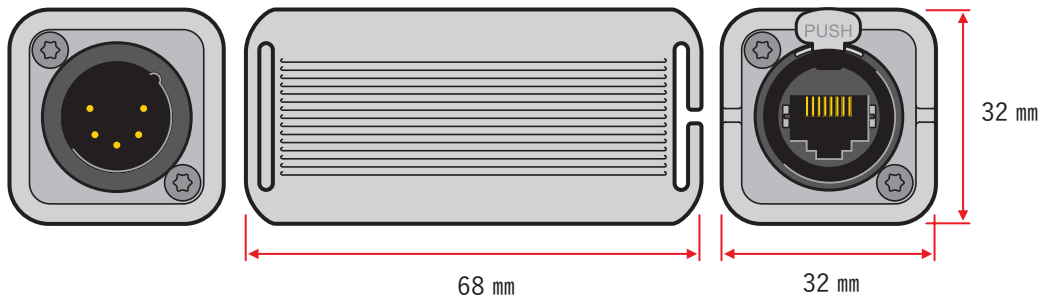


キーパッド



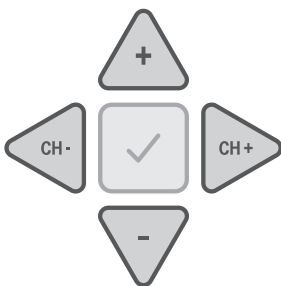
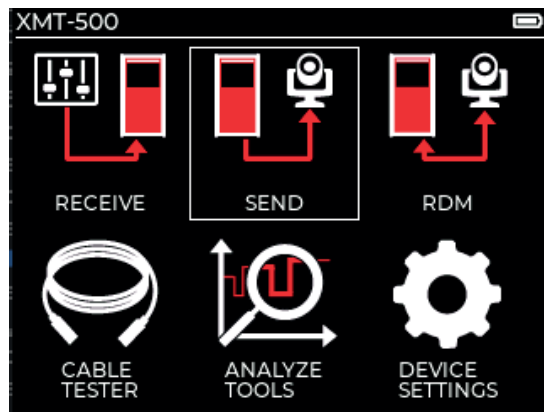
ケーブルテストドングル

XMT-500 は、オスとメスの XLR コネクタ間に接続されている緩んだ DMX ケーブルをテストできます。所定の位置に固定されている DMX またはイーサネットケーブルをテストする必要がある場合は、ケーブルテストドングルを使用します。ケーブルの一方の端にコンパクトドングルを接続し、もう一方の端に XMT-500 を接続するだけです。その後、ケーブルテスターセクション (11 ページを参照) を使用して、接続されたケーブルを確認します。



ホームページ

最初に XMT-500 の電源を入
れると、このホームページが開
きます。



矢印キーを使用して、アプリアイコン間でハイライトボックスを移動し
ます。これらのキーを使用して、アプリ内のオプション間を移動した
り、設定を変更したりすることもできます。

必要なアプリまたはオプションが強調表
示されたら、OK キーを押します。



前のページに戻るには、Back キーを押します。

4 つのソフトキーの変更機能は、画面上のソ
フトキーの上にリストされています。







特定のアプリの構成項目を表示するには、設定キーを押し
ます（すべてのアプリで使用されるわけではありません）。

Recieve

このアプリを使用すると、DMX コネクタやイーサネットコネクタで受信した有効な入力信号のチャンネルレベルを表示できます。チャンネル / アドレスレベルは、10 進数、16 進数、またはパーセント表記で表示できます。



ナビゲーション

- チャンネル / アドレスの選択 
- セッティングページを開く 
- ルーティングページを開く  [ルーティング] 9 ページ参照
- 以前のページへ戻る 

セッティングページ

- Show Level As: レベル表示をデシマル / ヘックス / パーセントに切り替えます。
- Address Mode: All/Non-Zero (選択すると、0 より大きい値を持つチャンネルのみが表示されます)

ルーティング






このページは、2 つ以上の有効な信号プロトコル (DMX、Art-Net、および / または sACN) を受信するときの優先順位を管理します。受信した最も優先度の高いプロトコルのみが表示されます。

Send

このアプリを使用すると、DMX コネクタやイーサネットコネクタを介して接続された1つ以上のデバイスにチャンネルレベルを送信できます。チャンネル / アドレスレベルは、10 進数、16 進数、またはパーセント表記で表示できます。



ナビゲーション

- チャンネル / アドレスの選択 
- チャンネルレベルの変更 
- セッティングページを開く 
- Routing ページを開く 
- 以前のページに戻る 

セッティングページ

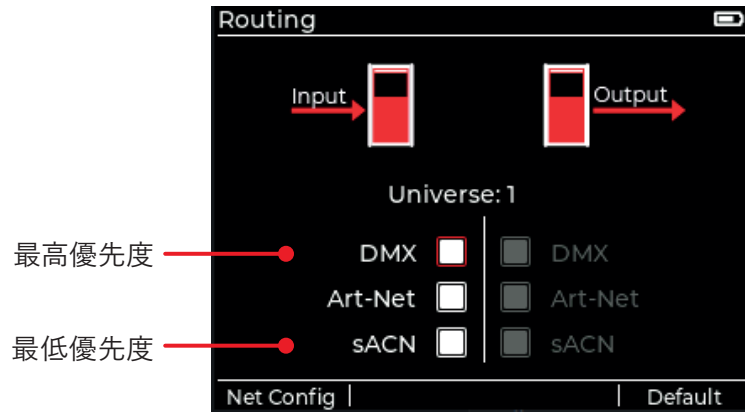
- Clear All Channels: 全てのチャンネルを0にします。
- Show Level As: レベル表示をデシマル / ヘックス / パーセントに切り替えます。
- Refresh Rate: 5Hz/10Hz/15Hz/20Hz/25Hz/30Hz/40Hz/44Hz

ルーティング

このページでは、どのプロトコル (DMX、Art-Net、sACN) が送信されるかを管理します。複数のが可能です。

Routing

このページには、Send アプリまたは Receive アプリから [Routing] ソフトキーを押してアクセスします。このページの機能は、サポートされているさまざまなプロトコル (XLR コネクタ経由の DMX および / または RJ45 コネクタ経由の Art-Net / sACN) を管理することです。



使用されているアプリ (受信または送信) に応じて、入力側または出力側のいずれかがアクティブになります。Art-Net および sACN 信号の場合、 キーを使用して必要なユニバースを選択します。

インプット (Receive アプリ)

XMT-500 による受信が現在有効になっているプロトコルは、チェックボックスがオンになっていることで示されます。Receive アプリは、このリスト内で受信した最も高いチェック済みプロトコルの入力 (および選択されたユニバース) を表示します。

アウトプット (Send アプリ)

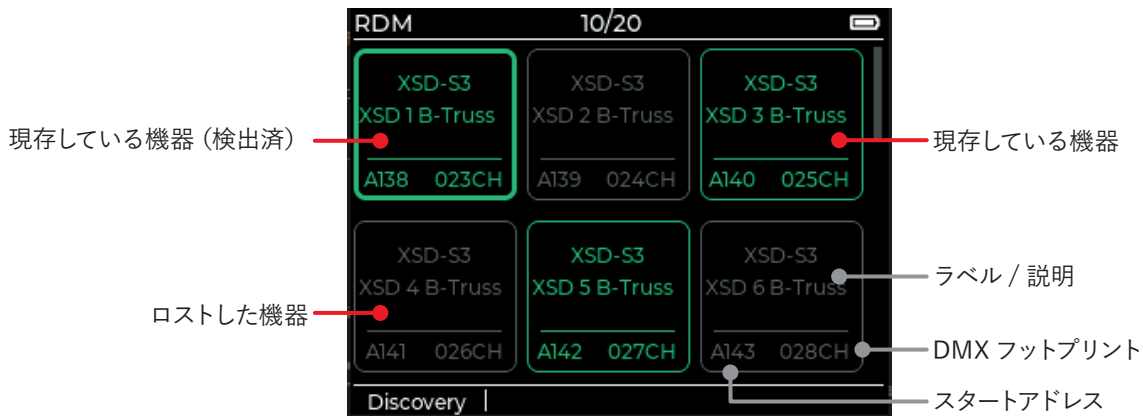
アクティブな各プロトコルは、チェックボックスがオンになった状態で表示されます。Send アプリでは、選択したチャンネル値が各プロトコルに並行して送信されます。必要に応じて、 キーを使用して、Art-Net および sACN に使用されるユニバースを変更します。

ナビゲーション

- シグナルタイプの選択
- Art-Net /sACN ユニバースの選択
- シグナルの選択 / 解除
- ネットワークコンフィグレーションの表示
- デフォルト値に戻す
- 以前のページに戻る

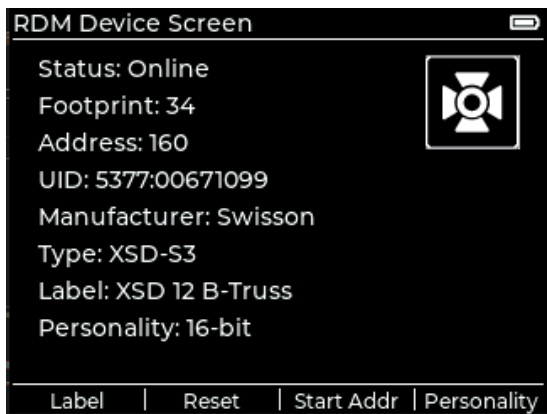
RDM

このアプリは、プロトコルをサポートする接続された機器のリモートデバイス管理機能を扱います。開いた後、互換性のあるすべてのフィクスチャを見つけるためにディスカバリーが実行されます（増分ディスカバリーもバックグラウンドタスクとして実行されます）。検出されたデバイスは次のように表示されます。



ナビゲーション

- 新規検出 [Discovery]
- 機器のハイライト CH+ CH- + ▾
- ハイライトした機器の選択 ☑
- 以前のページに戻る ↶



選択した器具の表示が新しいページに表示されます。4つのソフトキー オプションを使用すると、次のことが可能になります：

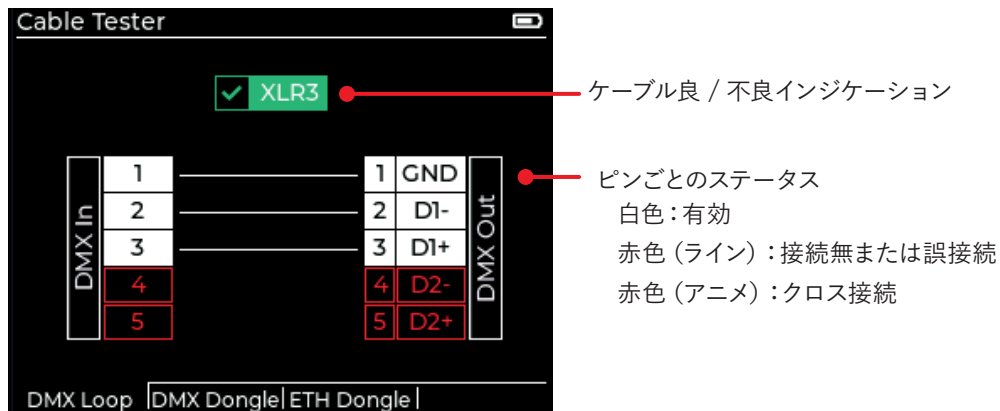
- RDM ラベルのセット
- フィクスチャーのリセット
- スタートアドレスの変更
- フィクスチャーパーソナリティの変更

ケーブルテスター

このアプリを使用すると、DMX ケーブルとイーサネットケーブルをテストできます。緩んだ DMX ケーブルは、XMT-500 のみを使用してテストできます。敷設された DMX ケーブルやイーサネットケーブルには、ケーブルテストドングルを使用してテストすることができます。

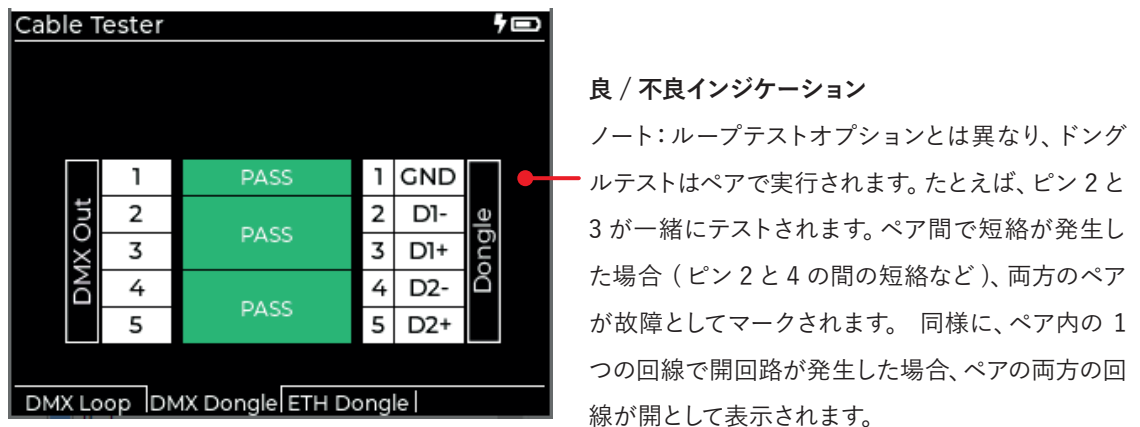
DMX ループ

アプリはまず、入力と出力の XLR ソケット間に接続されている DMX ケーブルの緩みをテストするための DMX ループページを表示します。



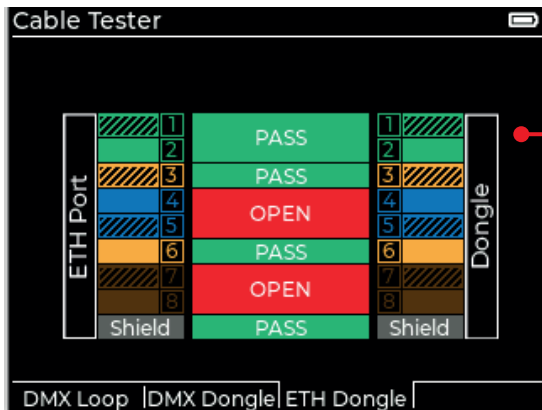
DMX Dongle

XMT-500 の XLR コネクタとドングルの間の DMX ケーブルをテストする場合、DMX ドングルのソフトウェアキーを押すと次が表示されます：



ETH Dongle

XMT-500 の RJ 45 コネクタとケーブルテストドングルの間のイーサネットケーブルをテストする場合、ETH Dongle のソフトキーを押すと次が表示されます：



良 / 不良インジケーション

ノート：ループテストオプションとは異なり、ドングルテストはペアで実行されます。たとえば、ピン 1 と 2、ピン 3 と 6、4 と 5、および 7 と 8 が一緒にテストされます。ペア間で短絡が発生した場合（例：ピン 2 と 4 間の短絡）、両方のペアが失敗としてマークされます。同様に、ペア内の 1 つの回線で開回路が発生した場合、ペアの両方の回線が開として表示されます。

重要

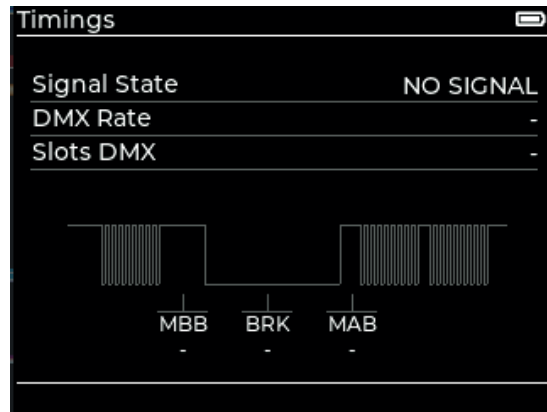
ケーブルテストモードでは：

- ライブ Ethernet ポートには決して接続しないでください。
- イーサネットテストを有効にするには、DMX を XMT-500 から完全に切断します。

アナライズツール

タイミング

このアプリは、XMT-500 入力 XLR コネクタに接続された信号の DMX タイミングの内訳を提供します。



次の信号の側面がリアルタイムでリストされます。

- 信号状態 - 信号が存在し、エラーがないかどうかを示します。
- DMX Rate: 1 秒あたりの DMX フレーム数を示します。
- Slots DMX : DMX パケットに含まれるデータスロットの数を示します。
- MBB : Mark Before Break - 高い値は、可変長の最後のデータパケットの終わりで休止します。
- BRK : Break - 低い値の休止は、新しいデータパケットの始まりを示します。
- MAB : Mark After Break - 高い値の休止は、ブレイクと後続のデータを分離します。

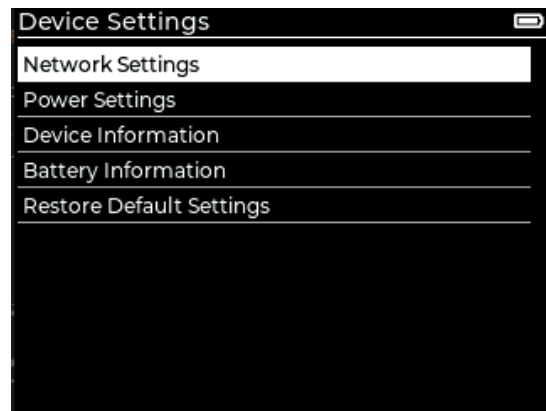
信号のタイミング

指定	Min	一般的な値	最大値
MBB (Mark Before Break)	0	—	< 1.00 s
BRK (Break)	88us	176us	—
MAB (Mark After Break)	8us	—	< 1.00 s



(レシーバーでの値)

Device Setting

このアプリには、XMT-500 の操作に関連するさまざまな設定、特にネットワークと電源の設定が含まれています。



ジェネラルナビゲーション

- オプション / セットアップの選択 
- 以前のページに戻る 

Network Setting

XMT-500 インターフェースを Art-Net/sACN ネットワークと連携させるために使用します。

- DHCP - 無効にすると、IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを手動で編集して静的 IP を選択できます。それ以外の場合、これらの詳細はネットワークによって付与されます。XMT-500 が DHCP リースを期限内に取得できない場合、現在の静的 IP の使用にフォールバックします。

Power Settings

- Brightness - 画面の明るさは 10% 単位で調整可能。デフォルト: 50%
- Turn Device Off After - ユーザーから入力が無くなってから電源が落ちる時間を設定。
Off / 2 Min / 5 Min / 10 Min / 30 Min / 1 Hour から選択
- Reduce Display Intensity After - ユーザーから入力が無くなってから画面が暗くなるまでの時間を設定。
Off / 15 Sec / 30 Sec / 1 Min / 2 Min から選択

Device Information XMT-500 の様々な内部情報

Battery Information デバッグインフォメーション

Restore Default Settings XMT-500 を標準設定に戻す

バッテリーの充電

充電には、4.5W 以上の一般的な USB 充電器を使用できます（充電ポートには USB-C コネクタが付いています）。充電時間を最小限に抑えるには、次のタイプのいずれかを使用することをお勧めします（必要に応じて USB-C アダプターを使用）:

- USB 3.2 タイプ A (7.5W、5V)
- USB タイプ C (>=7.5W、5V)
- USB BC1.2 (7.5W、5V)

電力が 4.5W 未満の USB 1.0 または 2.0 充電器を使用することは可能ですが、推奨されません。これには長い時間がかかり、複数時間の充電後に XMT-500 の内部保護システムが充電プロセスを停止する可能性があります。

仕様

寸法	122.5 x 75.3 x 43 mm (W x H x D)
重量	445 g
使用環境温度	-20°C ~ 50°C
充電温度	0°C ~ 50°C
充電可能バッテリー	3.6 V、3200mA
プロトコルスタンダード	Art-Net 1 - 4 sACN (ANSI E1.31)、sACN ドラフトバージョン (v 0.2) ANSI E1.11 (DMX-512)、ANSI E1.20(RDM) EIA-485 (信号ポートの電気規格)

Art-Net™ のデザインおよび著作権は Artistic License Holdings Ltd. にあります。

Swisson AG
Fabrikstrasse 21
CH-3250 Lyss
Switzerland

www.swisson.com
info@swisson.com

©2023 Swisson AG · Release: 0.0c

(株) スペースエンジニアリングワークス

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 523 ジョイフル中川1F

TEL: 03-5292-2380 fax: 03-5292-2382 www.sew-net.co.jp sew@sew-net.co.jp

Further
information

